

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

振り返って見れば、昨年は記録づくめの年でした。アテネオリンピックでは金メダル16、銀メダル9、銅メダル12と過去最高のメダルラッシュに沸き、日本中が熱狂したのがつい昨日のことに感じます。シアトルマリナーズのイチロー選手が262本の安打を放ち、84年ぶりに安打記録を更新し米国野球殿堂入りを果たしました。日本人の根性と技術を見せた素晴らしい記録であり、日本人に自信を取り戻してくれたように思います。

一方では暗い記録も多くあり、日本の統計史上を塗り替えた10個もの台風が上陸して全国各地に大きな被害をもたらしました。異常気象は世界各地で相次ぎ、米国では巨大ハリケーンが多発して多くの被害を受けています。また、10月23日に突如新潟を襲った新潟県中越地震はマグニチュード6.8、最大震度が7という巨大な地震でした。本震の後も大きな余震が繰返し発生し、被災された方々のご苦勞を考えると出きるだけ早くの復旧が望まれます。さらに、12月25日には阪神大震災の1,400倍、マグニチュード9のエネルギーを持ったスマトラ沖の巨大地震が発生し、地震によるインド洋の津波による犠牲者は日本人を含む約15万人にのぼっており、まだ増え続けているといわれています。

日本列島は都市部の降雪量、降雨量、台風の上陸数、地震発生件数、どれを取ってみても世界でも最多の部類に入り、国土として多くのハンディキャップを抱えています。自然災害に対する防災技術、災害復旧のための土木建設技術は世界でもトップレベルにあると思います。自然に立ち向かうことは容易なことではありませんが、安全で緑あふれる国土で快適に暮らすため、この優れた技術をさらにレベルアップして活用していく必要があると思います。

今年のはじめは如何でしたか。景気の見通しも長足とはいきませんが、確実に上向いていると思われ、明るい初夢を見た人も多いものと思います。そして、今年1年が明るい年であるように心から望みます。今月の特集テーマは「建設未来特集」として、これからの新しい建設関連技術を集めてみました。

最後になりましたが、年末のご多忙な時期にもかかわらずご執筆頂いた執筆者の方々に心より御礼申し上げるとともに、本年が皆様方にとってより良き年となりますよう心からお祈りし編集後記と致します。

(星隈・星野・村上)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

### 編集委員長

関 克己

### 編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源機構
吉村 豊	電源開発
西田 光行	鹿島
和田 一知	川崎重工
岩本雄二郎	熊谷組
嶋津日出光	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克己	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
芥藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
宮木 克己	日立建機
岡本 直樹	山崎建設
庄中 憲	施工技術総合研究所

### 2月号「建設ロボットとIT技術特集」予告

- ・建設ロボットとIT施工に関する最近の話題
- ・施工技術総合研究所の研究開発動向
- ・油圧ショベルのイーゾオペレーション化のための操作装置
- ・ホイールロードの自動化
- ・無人ラフテレンクレーンの開発
- ・ダイオキシン類を有する煙突解体システムの開発
- ・道路トンネルにおけるシールド技術体系と最新技術
- ・軟弱地盤から岩盤まで1台のマシンで対応—万能型シールド工法の開発—

## No.659 「建設の施工企画」 2005年1月号

(定価) 1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成17年1月20日印刷

平成17年1月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

## 発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-8-20	電話 (092) 741-9380